

第八十一回
帝國議會
貴族院

商工經濟會法案特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

○商工經濟會法案

○商工組合法案

○商工組合中央金庫法中改正法律案

委員氏名

委員長

副委員長

伯爵黒木 三次君

男爵東郷 安君

公爵徳川 家正君

侯爵池田 宣政君

侯爵須賀正氏君

子爵會我 祐邦君

子爵河瀬 眞君

子爵富小路隆道君

子爵織田 信恒君

有吉 忠一君

男爵松岡 均平君

伍堂 卓雄君

大橋 八郎君

吉野 信次君

男爵八代五郎造君

男爵杉溪 由言君

竹内 可吉君

稻畑勝太郎君

千石與太郎君

河西豐太郎君

中山 太一君

片倉兼太郎君

山上 岩二君

古莊健次郎君

中野 敏雄君

昭和十八年一月三十日(土曜日)午前十時
九分開會

○委員長(伯爵黒木三次君) デハ是ヨリ委員會ヲ開會致シマス、劈頭私カラ議事進行ニ付キマシテ、チヨット皆様ニ御諮ヲ致シ

タイト思フ次第デゴザイマ、ソレハ本日ハ丁度参考書類モ玆ニゴザイマスルケレドモ、マダ外ニ足りナイ所ガゴザイマスレバ御要求下サイマシテ、本日ハ午前中デ委員會ハ一應閉デマシテ、月曜日ノ十時カラ又開イテ協議ヲシテ行キタイ、斯様ニ思ッテ居リマス、此ノ付託セラレマシタ議案ハ三案アルノデゴザイマスガ、是ハ局長ノ方ノ擔當ガチヨット決ッテ居リマスノデ、サウ云フ關係上一案ツツ協議ヲシテ行キタイ、斯ウ思ッテ居リマス、ドウゾ左様御承知願ヒマス、御意見デモゴザイマスレバ、此ノ際チヨット承ッテ置キタイト思ヒマス

○有吉忠一君 資料ノ要求ハ一番初メニ致シマスカ

○委員長(伯爵黒木三次君) ドウゾ一番初メニ願ヒタイト思ヒマス、今アレバ今御願ヒ致シマス

○有吉忠一君 私ハ資料ヲ少シ頂戴シタイト思ヒマス

○片倉兼太郎君 私實ハ議事進行デ申上ゲタイト思ヒマス、此ノ程大臣カラ本會議デ、今度商工組合法ガ出來ルノダ、從ッテ商工經濟會ガ其ノ結果生ジナケレバナラヌト御説明ガアツタヤウニ思ヒマスノデ、出來ルナラバ商工組合法案ヲ先ニシテ、商工經濟會法案ヲ後ニシテ戴イタラドウカト思ヒマ

ス、御參考迄ニ申上ゲテ置マス

○有吉忠一君 私ハ商工經濟會法案ガ主デゴザイマスガ、商工組合法案ヲ先ニオヤリニナッテモ、モット資料ヲオ集メニナルノニ時日ヲ要スルコトガアツテハ惡イト思ヒマスガ、私ノ要求シタイ資料ハ、商工經濟會法案ノ第五條ニ商工經濟會ノ會員タル資格ガ限定サレテ居リマスガ、是ハ全國ノ府縣ニ付テ伺フコトハチヨット困難デアリマセウガ、例ヘバ六大都市ヲ包容シテ居ル處ノ府縣、ソレカラ極ク小サナ縣ト云フモノヲ分ケテ、二三選リ抜イテ貫シテ宜シウゴザイマスガ、サウ云フ所デ一體會員ノ數ト云フモノガ凡ソドノ位ニナルト云フ御見込デゴザイマセウカ、其ノ數ヲ一應調ベテ戴キタイ、ソレカラ其ノ次ニ總代ヲ選舉スルト云フコトガアリマスガ、其ノ總代ヲ選舉スルコトニ付テ、凡ソドレ位ノ會員ガアル所カラ總代ヲ選バヤウニナサレル御積リデアアルカ、ソレ等ノ資料ヲ一應御廻シテ願ヒタイ

○中野敏雄君 今商工組合法案ヲ先ニヤッタラドウカト云フ御説ガアリマシタガ、商工組合法案ハ條文ダケデモ百六條カラ成ッテ居リマシテ、經濟會法案ハ大體其ノ半分程度ニナッテ居リマス、少シ私共詳細ニ資料其ノ他モ集メタイモノガゴザイマスノデ、出來ルナラバ簡單ナ經濟會法案カラ先キニヤッテ戴ケレバ好都合ト思ヒマス

○委員長(伯爵黒木三次君) 申上ゲマスガ、又片倉君ニモチヨット當局トモ話シ合フタ所ヲ御答ヲシタイト思ヒマスガ、當局ノ方デモ商工經濟會法案ヲ先ニ御願ヒシタ

イ、ソレカラ商工組合法案ト商工組合中央金庫法中改正法律案ノ二案ハ不可分ノモノ

ダカラ一緒ニヤリタイ、サウシテ前ノ商工經濟會法案ニ付テモ、商工組合法案ノ時ニ何カ關聯ノモノガ出テ來レバ、其ノ時ニ御話ヲシテモ宜シイ、斯ウ云フワケデゴザイマスカラ、ドウゾ御諒承置キラ願ヒマス、中野君モドウゾ左様御諒承ヲ願ヒマス、他ニ資料其ノ他ニ付テノ御要求ハゴザイマセスカ

○中山太一君 資料ノコトニ付キマシテハ、商業組合、工業組合ノ法規ハ各々此處ニ出テ居リマスルガ、今回ハ三ツノ組合ガ矢張り整理サレルコトニナッテ居リマス、其ノ一ツノ重要物産ノ同業組合ニ關スル法規ガ出テ居ナイ、又ソレニ對スル資料ガナイヤウデアリマスカラ、御差支ナカッタレモ併セテ次回迄ニ御出シテ願ヒマスレバ、審議上非常ニ仕合セト思ヒマス

○委員長(伯爵黒木三次君) 他ニ御要求モゴザイマセスカ、御要求ガゴザイマセスケレバ是ヨリ商工大臣ノ法案ニ對スル御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(岸信介君) 商工經濟會法案外二件ノ提案理由ヲ御説明申上ゲマス、商工經濟會法案ハ曩ニ本會議ニ於テ申述ベマシタ通り、現下決戰體制確立ノ爲、國民經濟ノ總力ヲ戰力増強ノ目的ニ集中致シマシテ、之ヲ最モ有效ニ發揚セシムル爲、國內産業經濟ノ組織ノ確立ヲ目的ト致シマシテ、地域的綜合産業經濟團體ノ整備強化ヲ圖リ、全國各道府縣ニ商工經濟會ヲ設立セシムトスルモノデアリマス、産業經濟組

織ノ整備確立ニ付キマシテハ、舊ニ統制會制度ノ實現ヲ見マシテ、又其ノ下部組織ノ整備モ後ニ御説明ヲ申上ゲマスルヤウニ、商工組合法案ニ依リ商工組合ガ設ケラレルノデアリマスガ、是等ハソレモ業種別ニ生産、配給、消費ヲ縦ニ貫ク、謂ハバ縦斷的ノ産業統制機構デアリマシテ、此ノ縦斷的統制機構ニ依ル統制運營業ヲ眞ニ圓滑ナラシメル爲ニハ、同時ニ是等ノ機構ノ連絡ヲ圖ルベキ、謂ハバ横斷的機構ヲ整備セネバナラスノデアリマス、現在道府縣ノ産業經濟統制ハ總テ地方官廳ヲ通ジテ行ハレテ居リマシテ、之ニ協力セシムル爲ニ速カニ地域の綜合的ナル組織ヲ必要トスルノデアリマス、現在綜合的地域的ノ産業團體トシマシテハ、商工會議所法ニ依ル商工會議所ガアルノミデゴザイマスガ、商工會議所法ハ御承知ノ如ク、昭和二年ニ制定セラレマシタモノデアリマシテ、其ノ後ニ於キマスル經濟諸情勢ノ變化ニ依リマシテ、其ノ運營業ハ今日ノ事情ニ即應シ難キモノガ多イノデアリマシテ、之ヲ以テシテハ現下ノ要請ニ十分ニ應フルコトハ困難ト相成ツテ參タノデアリマス、此ノ故ニ商工會議所制度ヲ廢止致シマシテ、新クニ商工經濟會制度ヲ設ケムトスルノデアリマス、以下少シク商工會議所ト商工經濟會トヲ比較致シマシテ、本法提案ノ理由ヲ明ニ致シタイト存ジマス、從來ノ商工會議所ハ單ニ商工業ノ改善發達ヲ圖ルコトヲ其ノ目的ト致シテ居タノデアリマスルガ、商工經濟會ハ地域の綜合産業經濟團體トシテ、地方産業經濟ニ關スル行政ニ對スル協力ヲ此ノ主眼ト致シテ居リマス、第一ニ商工經濟會ハ、産業行政ノ協力機關デアリマスノデ、行政區劃

ニ依リマシテ道府縣ヲ其ノ區域トシ、從來ノ商工會議所ガ市又ハ町ノ範圍ヲ區域トシテ居リマシタノニ對比致シマシテ、其ノ地區ハ擴大サレノデアリマス、次ニ商工會議所ノ構成員ハ一定ノ國稅、例ヘバ營業稅等ノ一定額ヲ納ムルモノヲ議員選舉權者トシテ、是等ノ者ノ選舉致シマシタ議員ヲ中心ニ、事業ヲ行ッテ居タノデアリマスルガ、地方産業行政ニ協力セシメテ、一般産業間ノ連絡ヲ圖リマス爲ニハ、産業經濟ニ關係スルモノヲ廣ク其ノ構成員トスル必要ガアリマス、此ノ爲、商工經濟會ニ於キマシテハ、各種産業ヲ營ムモノノ中ヨリ構成員タル資格ヲ有スルモノヲ、行政官廳ニ於テ指定致シ、其ノ指定ヲ受ケタル者ハ當然加入スルモノトスルノデアリマシテ、比較的大ナル事業者ハ單獨ニテ、然ラザル者ハ組合等ニ依リマシテ團體加入セシムルコトト致シマシテ、廣ク有ラユル業種業態ニ屬スルモノヲ其ノ構成員トシテ包含致シマシテ、眞ニ綜合的經濟ノ圓滑ナル運營業ニ資セシムト考ヘルノデアリマス、次ニ商工經濟會ハ、地方産業行政ノ協力機關トシテ地方的組織ノ整備ヲ目的ト致シテ居リマスノデ、主務大臣ノ命令ニ依リ之ヲ設立セシメ、全國ニ商工經濟會ヲ設立スルコトト致シタイト存ジマス、此ノ點從來ノ商工會議所ガ、一定ノ資格者ノ發意ニ依リマシテ、所謂任意設立ニ任セテ居リマシタノニ比シマシテ、大ナル逕程ガアルノデアリマス、次ニ商工會議所ノ事業ハ、單ニ商工業ノ改善發達ヲ圖ルコトヲ主トシテ居リマシタ爲ニ、其ノ役員等ノ任免ハ、當事者ノ意思ニ任サレテ居リマシタガ、商工經濟會ノ事業ハ、總テ行政官廳ト表裏一體ノ關係ニ於テ、地

方産業經濟ニ關スル行政ニ協力セシムルコトヲ主眼ト致シマシテ、其ノ公共性ハ非常ニ強クナリ、事業範圍ハ擴大シテ居リマスノデ、眞ニ有能ノ士ヲ其ノ役員ニスルコトノ出來ル方途ヲ講ジマシテ、且行政官廳ノ任命又ハ承認制度ヲ採ツタノデアリマス、最後ニ商工經濟法ニハ支部ヲ設クル規定ヲ設ケテ居リマスガ、是ハ商工經濟會ノ事業ヲ圓滑ニ遂行シマス爲、必要ナル地ニ強力ナル支部ヲ設ケマシテ、下部組織ノ整備ヲ圖ラムトスル趣旨ヲゴザイマス、次ニ商工組合法案ニ於テ御説明致シマス、決戰下ニ於キマスル商工鑛業ノ總力ヲ結集致シマシテ、其ノ能率ヲ最高度ニ發揮セシメマスルコトヲ目途ト致シマシテ、其ノ統制運營業ヲ圖ル組織機構ヲ整備確立セムトスルモノデアリマス、而シテ本法ニ依リマシテ設立セラレマスル團體ハ、統制組合及ビ施設組合ノ商工組合竝ニ商工組合中央會デアリマス、第一ノ統制組合ハ、商工鑛業部門ニ於ケル統制團體デアリマス、政府ハ曩ニ公布セラレマシタ重要産業團體令ニ基キマシテ、重要産業部門ニ於ケル統制團體トシテ統制會ノ設立ヲ促進シ、既ニ其ノ數ハ二十有餘ニ上ツテ居リマシテ、重要産業部門ノ上部統制機構ハ、略之ガ整備ヲ了シタル狀況デアリマス、然ルニ重要産業以外ノ一般商工業部門ニ於キマシテハ、商業組合、工業組合、同業組合等ガアルノデアリマスルガ、是等ノ諸組合制度ハ、今日ノ戰時下ニ於ケル統制經濟ガ施行セラレル以前ニ創設セラレタモノデアリマス關係上、今日ノ統制經濟下ニ於ケル統制組織ト致シマシテハ、幾多ノ缺陷ヲ有シテ居ルノデアリマス、即チ其ノ運營業方法ガ組合ノ總會ヲ中心トスル合議制ニ

依ルモノデアリマスル爲、國家意思ヲ敏速且的確ニ滲透セシムル統制組織トシテ缺クル所ガアリ、且組合員ノ加入脱退ガ自由ナルコト、其ノ他統制ヲ確保スル爲ノ法的根據ガ薄弱ナルコト等ノ事由ニ依リマシテ、強力ナル統制ヲ行フ統制團體タルニ缺クル所ガアルノデアリマス、又組合組織ニ依ル統制團體トシテハ、右ノ諸組合ノ外ニ、統制會ノ下部組織ト致シマシテ、重要産業團體令ニ依ル各統制組合ガアリマスルガ、現行ノ統制組合ハ、其ノ事業ガ狹義ノ統制事業ニ限ラレテ居リマス結果、一般中小企業ノ統制ニ適合セザル所ガアリマスノデ、統制確保上必要ナル經濟事業ヲ合併セテ行ヒ得マスルヤウニ、之ヲ強化擴充スルノ必要ガアルノデアリマス、更ニ現行ノ商業組合、工業組合制度ハ、商工分立ノ原則ニ立ッテ居リマスル爲、問屋業者ト賃加工業者トノ如ク、密接ナル關係ヲ有スル商工業者ガ、別箇ノ商業組合、工業組合ニ加入セネバナラナクナリマス結果、商工業者相互間ニ動モスレバ對立摩擦ヲ惹起セシムル虞モアリマスノデ、必要ニ應ジマシテ、商工一體ノ組合ヲモ設立シ得ル途ヲ拓クノガ、適當タト考ヘラレルノデアリマス、茲ニ於キマシテ、現行ノ統制組合、工業組合、商業組合、同業組合ノ各種組合制度ノ長ヲ採リ短ヲ補ツテ、新統制組合制度ヲ創設致シタイト存ズルノデアリマス、第二ノ施設組合ハ中小企業ノ共同經營ノ組織デアリマス、現下ノ物資需給狀況ノ下ニ於キマシテ、生産ノ増強及ビ配給ノ適正ヲ期シマスル爲、低能率ノ企業ヲ整理統合シテ、産業能率ノ増強ヲ期シツ、アル次第デアリマスルガ、一面中小企業經營ニ伴フ利點モ之ヲ活用シ

ナケレバナラヌ場合モアリマスノデ、是等中小企業ヲ結合シテ共同經營ヲ行ハシメ、以テ中小經營ノ長ヲ採リ短ヲ補フ所ノ組合組織モ必要ト存ズルノデアリマス、現在ニ於キマシテモ商業小組合、工業小組合ノ如キ弱小業者ノ爲ノ組合組織ガ存スルノデアリマスルガ、其ノ組合員數、設立者ノ資格等ガ制限セラレテ居リマス結果不便デアリマスノデ、本法ニ依リマシテ任意加入制ノ純然タル共同組合トシテ、施設組合ナル制度ヲ設クルコトト致シタイト存ズルノデアリマス、第三ノ商工組合中央會ハ、本法ニ依ル統制組合及ビ施設組合ノ指導連絡ヲ圖ル中央機關デアリマシテ、其ノ事業ハ商工組合ノ經營實務ノ指導、其ノ他中小企業ニ關スル調査研究等ニ限リマシテ、所謂統制ニハ關與シナイ建前デアリマス、以上ノ如ク本法ハ既存ノ諸組合制度ヲ整理統合致シマシテ、商工鑛業ニ關スル簡素ニシテ強力ナル統制組織ヲ整備確立セムトスルモノデアリマスルガ、本法ニ依リ既存組合ガ新組合ニ改組セラレニ當リマシテハ、可及的ニ簡易ナル方法ニ依リ得マシヤウ諸種ノ規定ヲ設ケマスルト共ニ、將來ノ運用ニ當リマシテモ業界ニ無用ノ混亂ヲ生ゼシメナイヤウ特ニ留意致シテ居ル次第デアリマス、次ニ商工組合中央金庫法中改正法律案ニ付テ御説明申上ゲマス、商工組合中央金庫ハ商業組合、工業組合等、商工業關係組合ニ對スル金融ノ圓滑ヲ圖ルコトヲ目的ト致シマシテ設立セラレタノデアリマスルガ、設立後商業組合、工業組合等ノ飛躍ノ發展、其ノ數ノ増加ト相俟チマシテ、其ノ業務モ急速ニ擴充セラレテ參ツタノデアリマス、即チ設立當初ニ於キマシテハ所屬組合

數千六百餘、貸出殘高三百萬圓餘ヲ數フルニ過ギナカッタノデアリマスルガ、昨年末ニ於テハ所屬組合數ニ於テ約七千、貸出殘高ニ於テ一億圓ヲ突破スルニ至ツタノデアリマス、而シテ是等組合カラノ旺盛ナル資金需要ニ對應致シマスル爲ニハ、商工組合中央金庫ノ資力ヲ積極的ニ充實セシムル必要ガアルノデアリマスルガ、差當リ組合數ノ激増ニ鑑ミマシテ、設立當初ノ資本金千萬圓ヲ組合側ノミノ出資ニ依ツテ六百萬圓増加致シマスルト共ニ、臨時資金調整法ノ改正ニ依ツテ、商工債券ノ發行限度ヲ五千萬圓擴張スル等、必要ナル措置ヲ講ジテ參ツタノデアリマス、併シナガラ本金庫ノ主要ナル貸出財源ヲ爲ス商工債券ニ付キマシテモ、既ニ昨年末ニ於テ其ノ發行高ハ約一億一千萬圓ニ達シ、約三千萬圓餘ノ發行餘力ヲ殘スニ過ギナイ狀態トナリマシタニモ拘ラズ、組合ノ總數ハ増加ノ一途ヲ辿リツ、アリマスルト共ニ、今回本法ノ改正ニ依リマシテ從來ノ組合ヲ改組設立シタル會社、其ノ他統制ノ必要上設立シタル會社等ニ對シマシテモ、資金ノ融通ヲ行フコトトナリマスルノデ、將來本金庫ノ所要資金ハ急激ニ増加スルモノト豫想セララルノデアリマス、從ヒマシテ商工組合中央金庫ノ現在ノ資本金千六百萬圓ヲ以テシテハ、到底利用者ノ需要ニ應ズルコトハ困難ト認メラレマスルノデ、商工組合中央金庫ノ資本金ヲ千四百萬圓増加致シマシテ、政府ヨリ一千萬圓ヲ出資スルト共ニ、組合ヨリ四百萬圓ヲ出資セシメムトスル次第デアリマス、次ニ商工組合中央金庫ハ現在商工業關係組合ニ對シテノミ資金ヲ貸付ケ得ル建前ニナツテ居ルノデアリマスルガ、近時産業整備ノ必要ニ基

キマシテ、商工業關係組合中ニ於キマシテモ、組合ヲ改組シテ或ハ有限會社、食糧營團等ノ別個ノ形態ニ移行スルモノガ尠ナカラザル狀況デアリマス、從ヒマシテ從來商工組合中央金庫ニ所屬セル商工業關係組合デアリマシテ、改組ニ依リ加入者タル資格ヲ喪失シタモノニ對シマシテモ、貸付ノ繼續ヲ認メマスルト共ニ、商工組合中央金庫ニ所屬セザル組合又ハ聯合會ヲ改組設立シタル會社、其ノ他設立ノ趣旨、組織者等カラ見テ之ニ準ズベキ會社ニ對シマシテモ、餘裕金庫運用ニ依ル短期ノ貸付ヲ認メムトスルモノデアリマス、尙商工組合中央金庫ノ事業年度ハ現在年二回トナツテ居リマスルガ、手續ノ簡素化、經費ノ節約ヲ圖ル趣旨カラ致シマシテ、之ヲ年一回ニ改正セムトスルモノデアリマス、商工經濟會社法案外二件ノ提案理由ハ大體以上ノ通りデアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ希望致ス次第デアリマス

○委員長(伯爵黑木三三次君) 大臣ハ今日ノ午前中ハコチラニ御留リ出來ルサウデゴザイマスカラ、本日ハドウゾ大臣ニ對シテ極ク根本的ナ御質問ヲナサツテ戴イテ、月曜カラドウゾ私ノ手許迄ニ御質問ノ極ク概要ノコトヲ御書キ下サイマシタモノヲ出シテ戴キタイト思ヒマス、御質問ノアル方ハ……ソレデゴザイマセヌト、議事ノ促進ヲスルコトガ出來マセヌノデアリマスカラ、月曜日ノ日ヨリハサウ云フヤウニ願ヒタイ、斯様ニ思ヒマス、デハドウゾ大臣ニ對スル御質問ヲ御願ヒ致シマス

○有吉忠一君 先づ是カラ大體ニ付テ大臣ノ所信ヲ伺ヒタイト思ヒマス、今迄ハ商工會議所ト云フモノガアリマシテ、今度ハ其ノ商工會議所ト云フモノヲ廢メテ、商工經濟會ト云フモノヲ府縣ノ單位ニシテ作ル、其ノ趣旨ハ只今大臣ガ御説明ニナリマシタ通り、是迄ハ商工業ノ改善發達ヲ圖ルノヲ目的ニシテ出來テ居ツタノデアアル、今度ハ地方ノ行政ニ對シテ經濟的協力ヲナサシムル目的ノ爲ニ、公共的性質ヲ多分ニ加ヘテ行政協力ノ機關トスル目的ヲ以テ作ツタモノデアアルカラ、其ノ構成ナリ、或ハ役員ノ選任ナリニ付テ非常ニ注意ヲ拂ツタト云フ御話デアリマス、其ノ點ハ能ク諒承ガ出來ルノデアリマス、全ク是迄商工會議所ト云フモノノ改正案ハ屢、商工省デ研究サレタコトモ私承知シテ居リマス、今度ハ其ノ改正ト云フモノハ全ク全廢シテ、サウシテ新シイ經濟會ト云フモノヲ作ラウトナサツテ居ル、其ノ趣旨ハ是デ能ク明カニナツテ居ル、私ハ此處デ大臣ニ御伺ヒシタイト云フ點ハ、此ノ法案ノ第一條ヲ見マスト云フ、「國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲國策ニ協力シ産業經濟ノ圓滑ナル連絡ヲ圖ルト共ニ其ノ改善向上ニ努ムルコトヲ目的トス」斯ウ書イテアル、サウシテ今大臣ノ御説明ニ依レバ、是迄ハ統制會ト云フモノガ、各縦斷的ニ出來テ居ルガ、横ノ連絡ト云フモノニ付テ未ダ至ラザル所ガアルカラシテ、此ノ商工經濟會云フトモノヲ其ノ横ノ連絡ノ機關トシテ、連絡ヲ圖リタイト云フ積リデアルト云フ御話デアアル、是モ理念トシテハ誠ニ結構ナ御考ヘツキダト思ヒマスガ、扨テ私ハ茲ニ大臣ニ御伺ヒシタイト云フ點ハ、之ヲ實行ナサルニ付テ、ドウ云フ一體具體的方法ヲ以テ横ノ連絡ト云フモノヲヤラセルト云フ御考デアアルカ、其處ガドウモ私共ハ法案ダケデハ、實行サレルニ付テノ

方法ガドウモ私ニハ十分ニ吞ミ込メナイ、
是ハ法文ノ上デハ表スコトガ出来ナイノデ
アリマセウト思ヒマスカラ、商工當局トシ
テ、此ノ協力ヲサセ、連絡ヲスルト云フコ
トニ付テハドウ云フ風ニシテヤラセルト云
フ御見込デアリマセウカ、ソレヲ實行ナサ
ルニ付テハ十分ニ成案ヲ御持チニナッテ
居リマスカドウカト云フ點ヲ、私ハ第一ニ
御伺フシテ見タイト思フノデアリマス

○國務大臣(岸信介) 今日ノ戰時下ニ於
ケル統制經濟ヲ施行シテ参リマスル爲ニハ、
重要産業別ニ、縦ニ一ツノ統制機構ヲ作ッ
テ行クト云フ所ノ必要モ、一面ニ於テ非常
ニ必要デアリマス、例ヘバ鐵、石炭ト云フヤ
ウナモノニ付キマシテ、鐵鑛ニ關スル限り、
之ニ關聯シテ居ル所ノ仕事ヲシテ居ルモノ
ヲ其ノ傘下ニ收メテ、鐵ニ關スル限りニ
於キマシテハ、上カラ下迄其ノ鐵鑛ニ關
スル統制會ガ、政府ト協力シテ統制ノ實ヲ
舉ゲテ行クト云フ建前ヲ執ッテ行ク必要ガ
一面ニ於テ非常ニ重大ニ痛感サレマス、政
府ハ此ノ必要ニ應ズル爲ニ、統制會及ビ其ノ
下部機構ト云フモノヲ整ヘテ參ッテ居ルノ
デアリマス、處ガ是ガ全國ニドウ云フ風ニ
實施サレテ來ルカト申シマス、其ノ統制
ノ最後ノ末端ハ、ドウシテモ各道府縣ニ是ガ
行クノデアリマス、ソレド道府縣ノ行政機
構トシテハ、御承知ノ通り道府縣長官ト云フモ
ノガ、所謂綜合的ナ機構トシテ、御承知ノ通り
各省大臣ノ指揮監督ノ下ニ、地方ニ於ケル
綜合的ナ行政ヲ扱ッテ居ル、デサウ云フ末
端ニ參リマス、各産業統制ノ仕事モ、行
政機構トシテハ府縣ノ統制機關ニ依ッテ行
ハレ、又同時ニ産業經濟ノ實態カラ見マシ
テモ、中央ニ於キマシテモ此ノ縦ノ統制會

間ノ連絡ヲ執ル必要ガアリマスルガ、更ニ
是ガ地方ノ末端ニ行ッテ實施サレル狀況ニ
鑑ミテ見マス、更ニ綜合サレル必要ノ強
度ニ要求サレルモノガアルト思フノデアリ
マス、ドウシテモ地方ニ於ケル此ノ統制ノ
實施ノ末端ノ綜合ヲ如何ニシテ完備シテ行
クカト云フ事柄ハ、常々私共ハ非常ニ苦心
ヲシテ居ッテ所デアリマスルガ、是ノ行政
機構ノ地方廳ニ全面的ニ協力スル所ノ一ツ
ノ團體ガ、ドウシテモ必要デアル、是ガ商工
經濟會ノ組織ヲ建テヨウトシタ一ツノ大キ
ナ理由デアリマスルガ、然ラバ今御質問ニ
ナリマシタ、ドウ云フ風ニシテ其ノ綜合的
ナ實ヲ舉ゲテ行クカト云フ問題デアリマス、
是ハ一ツハ商工經濟會ノ組織ノ問題ダラウ
ト思ヒマス、即チ構成ノ問題ダラウト思ヒ
マス、縦ノ統制機構デアル所ノ統制會ノ會
員デアリ、ソレノ組織分子デアル所ノ者ガ、
同時ニ現場ニ於キマシテ各道府縣ノ經濟會
ノ「メンバー」會員トナルト云フ組織ヲ採ル
必要ガアルト思ヒマス、先程モ御説明申上
ゲマシタヤウニ、比較的大キナ有力ナ産業
界ノ事業者ハ單獨ニ於テ商工經濟會ヲ組織
スル、同時ニ其ノ人々ハ縦ノ關係ニ於キマ
シテハ統制會ノ會員ヲシテ居ル、ソレカラ
中小企業ノ連中ハ、今回改正シマシタ所ノ
商工組合法、其ノ他適當ナル團體組織ニ組
織セラレマシテ、一方ニ於テハ縦ノ統制會
ノ「メンバー」デアルト共ニ、各地方ニ於キ
マシテハ商工經濟會ノ會員デアル、斯ウ云
フコトニ相成リマシテ、此ノ商工經濟會ノ
會員ハ、中央ニ於テハ各統制會ノ縦ノ組織
者デアルト共ニ、地方ニ於キマシテハ綜合
的ニ各統制會ノ「メンバー」石炭ニ關スルモ
ノモ、鐵ニ關スルモノモ或ハ纖維工業ニ關

スルモノモ、ソレノ地方ノ商工經濟會ノ
組織者トナルト云フコトニ依ッテ、此ノ間ノ組
織上ノ綜合連絡ト云フモノガ執レテ行クト
思フノデアリマス、又今度ハ運用ノ組織ノ
上ニ於テモサウ云フ構想ヲ實現スルト共ニ、
今度ハ運用ノ上ニ於テ先程申述ベマシタヤ
ウニ、地方長官ト云フモノガ地方ノ綜合行
政機關デアリマスノデ、ソレト表裏一體ニ
ナッテ、是ガ活動サレ運用サレテ行クト云フ
コトニナリマスレバ、其ノ地方ニ於ケル產
業經濟ガ綜合サレタ意味ニ於テ地方行政ト
云フモノモ行ハレ、ソレニ協力スル所ノ商
工經濟會モ運營サレテ行クト云フコトニ依
リマシテ、組織及ビ運營ノ兩方面カラシテ、
此ノ産業經濟ノ横ノ綜合的ナ連絡ヲ取ッテ
行クト云フコトヲ行ッテ行キタイ、斯ウ云フ
風ニ考ヘテ居リマス

○有吉忠一君 一應御説明ノ趣旨ハ了解致
シマシタガ、此ノ經濟會ヲ見マス、ト云フ
ト、第一ニ總會ト云フモノヲ認メテ居ル、
サウシテ其ノ總會ハ、先程私資料ヲ要求致
シタノデアリマスガ、府縣ニ依ッテハ數千ニ
上ル會員ガ含まレヤシナイカト思ハレル所
ガアル、サウ云フモノヲ團體ノ構成員トシ
テ、ソレ等ノ意思ヲ疏通シテ、ソレ等ヲ集
メテ横ノ連絡ヲ圖ルト云フヤウナコトハ、實
際問題トシテ出来サウモナイ、ソコデ總
代ヲ認メラレタコトニナルノダラウト思フ
ノデアリマス、此ノ總代ハ一體ドウシテ選
ブカト云フコトハ、此ノ法文ノ中ニハ
何等規定ハナイ、ソレデ一應私ハ大臣
ガ述べラレタヤウニ構成員ニ依ッテ連絡ヲ
圖ッテ行クト云フ御趣旨デアルト云フコト
ハ能ク分リマシタガ、併シ今日迄私共ガ商
工會議所ト云フモノニ携ッテ居ッテ經驗カラ

申シテ見マスルト、現在ノ商工會議所ト云
フモノハ、法ニ依ッテ與ヘラレタル權限ト
云フモノハ殆ド無イノデス、殆ド無イニ拘
ラズ、此ノ頃各地方ノ實際ヲ御覽ニナルト
分リマスガ、地方ノ經濟界ニ於テハ確カニ
必要ナル働キヲ爲シテ居ルノデアリマス、
是ハ一朝一夕ニ斯様ニナツタノデハナイノ
デアリマシテ、自然ニ、段々ト經濟界ノ趨
勢ニ順應シテ此處迄發達シテ參ッタモノデ
アリマス、ダカラ今日ノ商工會議所ハ、法
ニ依ッテ與ヘラレテ初メテ斯ウ云フモノガ
出來上ッタモノデナクシテ、民間ノ經濟界ノ
形勢ニ順應シテ自然ニ發達シテ參ッテ、此ノ
重要性ヲ帶ビテ來タモノデアル、ソレ故ニ
コソ此ノ會議所ノ構成員ニモ、地方デ相當
ナ人物ガ出テ、サウシテ其ノ人物ノ個人的
勢力ト云フモノニ依ッテ、經濟界ノ指導ヲス
ヤウニナッテ來タモノデスカラ、地方デモ
官、公、民ト云ヘバ、官デハ地方長官ガ官
ヲ表ハシ、大都市ノ市長ガ公ヲ代表シ、サ
ウシテ商工會議所ガ民ヲ代表スルト云フヤ
ウナ、自然ノ狀況ニナッテ參ッテ居ル、處ガ
今度ハ其ノ商工會議所ト云フ、自然ニ發達
シテ經濟界ノ情勢ニ應ジテ出テ來タ、斯ウ
云フ相當ノ動キヲシテ居ル機關ヲ廢止シテ
シマッテ、サウシテ新シイ斯ウ云フモノヲ作
テ之デ地方ノ行政ノ協力機關ヲ作ルト云
フコトヲ御考ヘニナルコトハ御尤モタガ、
本當ニ其ノ效果ヲ是ガ舉ゲ得ルモノデア
ルカナイカト云フコトニ付テハ、私共餘程ソ
コニ懸念ヲ持ツノデアリマス、斯ウ云フ今
日ノヤウナ時勢デアリマスルカラ、私共ハ
政府ガ斯ウ云フ風ニシタナラバ宜カラウト
斯ウ思ハレル事柄ニ付テハ、決シテ反對ヲ
致ス者デアリマセス、是非政府ガ考ヘラ

工會議所ト云フモノニ携ッテ居ッテ經驗カラ

レル通りノコトヲ實行セラレルヤウニ御協
力ヲ致シタイ考ヘデアリマス、併シドウカ、
實行サレレニ付テハ、本當ニ效果ノ擧ルヤ
ウニ御互ヒニ研鑽ヲシテ行クト云フコトガ
必要ダラウト思ヒマス、此ノ點ニ付テドウカ一
ツ大臣モ、本當ニ此ノ第一條ノ目的トスル
效果ヲ擧ゲ得ルト云フコトニ付テ、十分
ナル確信ヲ以テ實行ノ出來ルヤウニ御仕組
ミニナルト云フコトガ必要デヤナイカト思
フノデアリマス、其ノ點ニ付テ、今構成デ
ヤッテ行クト言ハレマス、其ノ構成
ノ點ニ付テハ、頗ル不明瞭ナル點ガ多イヤ
ウニ思フノデアリマス、之デ矢張り十分
ヤッテ行ケル御見込デアリマス

ノ方面ノ自發的ナ協力ト云フモノガ強ク要
望サレテ來ナイト、斯ウ云フ制度ガ十分其
ノ目的ヲ達成スルコトハ出來マイト思フ
デアリマス、今回ノ商工經濟會ノ制度其ノ
モノハ、先程來御説明申上ゲマシタ通り新
シイ制度デ、相當劃期的ナモノデアリマス
ルガ、其ノ實體ヲナス所ノモノハ、言フ迄
モナク過去長キニ互ッテ發達シテ來タモノ
デアリマス、其ノ商工會議所ニ於ケル財界
各方面ノ人々ノ自發的ナ努力ニ依ッテ今日
迄發達シテ來、又之ニ依ッテ現下ノ時勢ノ下
ニ於テ政府ト協力シヨウト云フ、其ノ御努力
ト云フモノヲ新シイ經濟會ニ總テ採リ入レ
マシテ、之ヲ實現シテ行クト云フ考ヘデア
リマス、唯此ノ組織ノ上ニ於キマシテハ、
御承知ノヤウニ、現在ノ商工會議所ノ實情
ヲ見マスルト、必ズシモ其ノ地方ニ於ケル
產業界ノ最モ有力ナ人々ヲ網羅シテ、サウ
シテ之ニ依ッテ本當ニ其ノ地方ノ產業經濟
界ノ實情ト云フモノヲ最モ有力ニ示シテ居
リ、又同時ニ有力ナ御協力ヲ得ルト云フコ
トガ、必ズシモ現在ノ組織デハ達成セラレ
ナイ部面モ少クナイデアリマス、サ
ウ云フ點ガ今度ノ新シイ制度ニ於キマシテ
ハ十分改善セラレテ、眞ニ各地方ノ最モ有
力ナル產業經濟界ノ方々ガ之ニ參畫シ、同
時ニ地方ノ實情ヲ最モ明確ニ之ヲ實現シテ
來ルト云フヤウナ組織機構ヲ採ルコトニ
付テ、政府トシテハ萬全ノ方策ヲ講ジテ
行ッテ、十分商工經濟會ノ目的ヲ到達スルヤ
ウニ運營シテ行ク、斯ウ云フ心構ヘデ居リ
マス

布サレタト云フコトヲ御述ベニナリマシタ
ガ、此ノ法律ハサウ云フ風ニナッテ居リマ
スケレドモ、實質ハ、非常ニ其ノ淵源ハ古
イノデアリマス、此ノ起リヲ研究シテ見マ
スルト、全ク是ハ德川幕府ガ不用意ノ間ニ
何等ノ準備モナシニ開國ヲシタ、其ノ後始
末ノ一部ヲ此ノ商工會議所ガ引受ケテ居ッ
タト申シテモ差支ナイデアリマス、開港
當時、我が國民法モナケレバ商法モナカッ
タ、殊ニ一定シタ商習慣ト云フモノモ何モ
ナイ、茲ニ忽チ外國ノ貿易ニ當面シタノデ
アリマス、此ノ商取引ニ携ッテ居ル外國人
ハ、自分ノ利益ノアル時ニハ自分ノ法律ヲ
引キ出シ、自分ノ不利益ナル時ニハ勝手次
第ナ主張ヲ要求ヲ出シタノデアリマス、其
ノ專横ノ爲ニ幾年我が日本ノ商人ハ苦シ
ンダカ分ラナイ、ソコデ何トカシテ此ノ外國
商人ノ跋扈ヲ防グ方法ヲ講ジタト云フ
デ、色々審議ヲシタノデアリマス、或ル
書物ニハ、其ノ時ニ餘リニ日本ノ商人ガ外
國商人ニ壓倒サレルノデ、何トカ救済ノ方法
ヲ求メタイト云フノデ、福澤諭吉先生ノ所
ヘ行ッテ相談ヲシタ、處方福澤先生ガ、外
國ニハ商工會議所ト云フモノガアッテ、共
同デ物ヲ調べ又共同デ事ヲ處理スルト云フ
機關ガアル、サウ云フモノヲ作ッタル宜カ
ラウト云フコトヲ教ヘラレタノデ始メテ商
工會議所ト云フヤウナ組織ヲシタト云フコ
トガ、或ル書物ニハ載ッテ居リマシタ、是
ハ私ノ何處迄其ノ書物ノ記事ガ信頼出來ル
カドウカ分リマセヌガ、併シ各地ニ於テ商
業會議所ト云フモノガ始メテ起ッタノハ、
是ハ政府ガ慈惠シテ作ッタモノデナクシテ
民間ノ中カラドウシテモ斯ウ云フ機關ガナ
レバナラヌト云フノデ、發達ヲシテ參ッ

ト云フコトガ、起源ト私ハ信ジテ居リマ
ス、ソコデ現在ノ商工會議所ノ權限ノ中ニ
仲裁ニ關スル事ト云フノガゴザイマス、此
ノ仲裁ト云フコトハ全ク、此ノ外國商人ト
日本ノ商人トノ間ニ起ル紛爭ヲ仲裁シタノ
ガ濫觴デアリマシテ、現ニ橫濱ノ商工會議
所ノ如キハ、アノ外人ガ瀕リニ秤料ト云フ
ヤウナモノヲ不當ニ請求シタリ、或ハ拜見
ト云フヤウナ不當ノ慣習ヲ以テ日本ト商品
ヲ勝手ニ區別シタイト云フヤウナコトニ對
シテ、非常ニ爭ウテ、日本ノ商權ノ擴張ヲ
圖ッテ參ッタコトハ、モウ明ラカナル事實
デアリマス、元々此ノ商工會議所ノ起リ
ハ、外國ノ商人ノ專横ニ對シテ日本ノ商人
ノ利益ヲ保護シ、サウシテ段々ト其ノ商權
ノ發達ヲ圖ルト云フコトガ、元々ノ起リデ
アッタノデアリマス、其ノ後我が國權ノ
伸張ニ依リ、段々ト外國人モサウ云フ專横
ヲ爲シ得ナイコトニナリマシタ、殊ニ改正
條約ガ實施サレテ、治外法權ガ撤廢サレタ
以後ハ、段々其ノ點ハ日本ノ商人モ公正ナ
ル取引ガ出來ルヤウニナッテ參ッタノデア
リマス、サウナッテ參ルト、今度ハ商業會
議所ト云フモノ、働キガ、今迄ノヤウナ方
法デナクシテ、今度ハ變ッタ方法ヲ採ッテ
參ッタ、サウシテ最近ニナッテハ中小ノ商
工業者ノ利益ヲ保護スル一ツノ機關ノヤウ
ニ、段々看做サレテ來マシテ、サウシテ遂
ニハ世間カラハ、產業組合ニ對スル反對運
動ノ本據ノヤウナ誤解ヲ受ケタコトモアル
ノデアリマス、私ハ敢テ之ヲ誤解ト言ヒマ
スガ、是ハ矢張り經濟界ノ狀況ノ變化ニ應
ジテ、商工會議所モ自然ニ、法ニ依ッテ與
ヘラレテ居ルノデアリマセヌケレドモ、段
段ト機能ガ變化シテ參ッテ居ルモノト思フ

○國務大臣岸信介君

御質問ノヤウニ、
斯ウ云フ商工產業ニ關スル團體ノ活動ト云
フモノハ今日迄各種ノ團體ガソレレノ發達
シテ參リマシタガ、之ニハソレレノ沿革
ト歴史ガアリ、長イ間ノ發達ノ過程ヲトッ
テ參ッテ居ルノデアリマシテ、從ヒマシテ新シ
キ制度ガ其ノ本來ノ使命ヲ十分ニ達成セシ
メルト云フコトニ付キマシテハ、政府ハ勿
論ノコト、之ヲ實際ニ組織スル處ノ產業經
濟界ノ方々ノ非常ナル努力ト御協力ヲ得ナ
ケレバナラスノデアリマス、今御話ガ
アリマシタヤウニ、此ノ商工經濟會ノ問題
ニ付キマシテハ、第一ニ最モ重大視スベキ
モノハ、其ノ組織、組成ニ於テ十分其ノ目
的ヲ到達セシムルヤウナ組織ヲ採ルト云フ
コト、ソレカラモウ一ツハ、之ヲ運營シテ
參ル上ニ於キマシテ、其ノ精神ニ最モ合體
シテ行クヤウニ、官ノ方面ニ於キマシテモ
其ノ精神ヲ以テ之ヲ運營シテ行クト同時ニ、
之ニ對シテ產業經濟界ノ全面的ナ協力、此

○有吉忠一君

誠ニ確固タル大臣ノ所信ヲ
伺ヒマシテ意ヲ強ウ致シマスガ、實ハ現在
ノ商工會議所法ハ先程大臣ハ昭和二年ニ發

ノデアリマス、今大臣ハ、今迄ノヤウナコトデハ、マダ全面的協力ガ不十分デアルカラ、此ノ商工經濟會ト云フモノヲ組織シテ、全面的ニ産業經濟ノ協力ヲ求メサセルヤウニシタイ云フ御希望ヲ強く御述べニナリマシタ、其ノ御希望ハ至極結構デアリマスガ、其處ニ付テ私尙一ツ疑ヒヲ持ツコトハ、農業ニ關スル諸團體ノ關係如何ト云フ問題デアリマス、是ハ農業、水産業、林産、畜産等ノ諸團體ガアリマス、ソレ等ノ團體ト此ノ商工經濟會トノ關係ト云フモノハドウナルカ、大臣ハ産業經濟全面ノ協力團體ニシタイト言ハレルガ、此ノ運營ヲ誤リ指導ヲヤリ損ヒマス場合ニハ、却ッテ是ガ協力ノ機關ニナラズシテ、農業、水産等ノ團體ト此ノ商工經濟會トノ間ニ、摩擦ヲ却ッテ起スヤウナ憂ガアリハシナイカドウカ、是等モ矢張り斯ウ云フ立法ヲスル時分ニハ、大イニ考ヘテ置カナケレバナラヌ點デアラウト思フノデアリマス、現ニ今日迄ハ商工會議所ハ中小ノ商工業者ガ外ニ他ル所ガナイ爲ニ、商工會議所ニ出テ參リ、商工會議所ガ或ル時代ニハ之ヲ取上ゲテ、サウシテ所謂友産運動ト云フモノヲ實行シタ場合モアルノデアリマスカラ、サウ云フコトガ、指導ヲ誤ルト云フト、起ラヌトモ限ラナイ、共ノ點ニ付テハ大臣ハサウ云フ憂ハ全クナイト、斯ウ云フ風ニ御確信ニナリマスカ、一應伺ヒタイ

○國務大臣(岸信介君) 商工團體ト農業ニ關スル團體トノ關係デアリマスガ、此ノ議會ニ農業水産業ニ關スル團體ノ整備統合ニ關スル法案ガ提案サレテ居リマス、即チ商工經濟會法ガ通過シ、農業團體關係ノ法案ガ通過スルトシマス、將來廣イ意味ニ於

ケル産業ノ部門ガ、農業ノ部門ハ農業團體ニ統合セラレ、商工關係ニ於キマシテハ此ノ商工經濟會ニ統合セラレテ、産業經濟ニ關スルモノガ大キク言ヘバ二ツノ分野ニ統合セラレルト云フコトニ相成ルノデアリマス、此ノ兩者ヲドウ云フ風ニ調整シテ行クカト云フ問題デアリマス、今日迄ノ商工會議所ノ色々歩ンデ參リマシタ過去ヲ顧ミテ見マシテモ、日本ノ産業行政ノ過去ヲ顧ミテ見マシテモ、遺憾ナガラ、不幸ニシテ農業部門ト商工部門ガ常ニ必ズシモ十分ナ協調ト調和ガ取レテ居タト云フコトハ、申シ得ナイト思フノデアリマシテ、今モ御指摘ニナリマシタヤウナ事態スラ、過去ニ於テモアッタノデアリマス、是ハ戰時經濟運營ノ上カラ申シマシテ、若シ斯カルコトガ出テ來ルト云フコトハ、是非非常ナ國家ノ不幸デアリ、又戰時下ニ於テサウ云フ事態ヲ發生セシメテハ相成ラナイデアリマス、近時此ノ農業諸團體ト商工諸團體トノ關係モ時局ト政府ノ施設ニ依リマシテ、往年ノ狀況トハ非常ニ變テ參リマシテ、此ノ間ノ調整ト云フモノモ非常ニ取レテ參テ居ルト私ハ信ジテ居リマス、唯全國ノ各地ヲ見マスト云フト、尙必ズシモ是ガ圓滑ニ行ツテ居ラナイ地域モ亦無イ譯デモナイノデアリマス、是等ノモノノ調整ニ付キマシテハ、中央ニ於キマシテ之レガ調整ノ方途ヲ十分ニ講ジテ居リマス、特ニ今回農業諸團體ガアノ農業團體法ニ依ツテ統合セラレ又商工關係ノ團體ガ商工經濟會ニ依ツテ有力ナル一ツノ組織ヲ持ツト云フコトニ相成リマシテ、是ガ地方ニ於キマシテハ何レモ地方長官ノ綜合行政ノ管下ニアツテ、兩會ガ、……兩團體ガ運營サレテ行ク、而シテ

中央ニ於キマシテハ、政府ヨリ地方カラ統一シタ兩者ノ調整ニ付テノ確平タル方針ヲ定メマシテ、兩方ノ十分ナ調整ヲ取ツテ行クト云フコトニ相成リマスレバ、將來ニ於テ過去ニ於ケルガ如キ、色々ナ摩擦抵觸ト云フモノノ苦イ經驗ヲ繰返サヤウナコトハ萬無カラウト思ヒマス、特ニ團體ガ是デ強化セラレ、且地方長官ノ綜合行政ノ下ニ統制ガ一元的ニ行ハレルト云フ組織ガ、兩法案ニ依ツテ達成セラレマス云フト、運營宜シキヲ得レバ、過去ニ於ケルヤウナ苦イ經驗ヲ又繰返サヤウナコトハ無カラウト思ヒマス唯現在實際ノ問題トシテ、各府縣ニ必ズシモ此ノ中央ノ精神ガ透徹シテ居ラナイ部門ガアリマスノデ、是等ニ關シマシテハ極力政府ト致シマシテ萬全ノ努力ヲ致シマシテ圓滑ナル兩者ノ調整ヲ取ツテ行ク、斯ウ云フコトニ致シタイト思ヒマス

○有吉忠一君 我バカリ質問シテ甚ダ相濟ミマセスガ、最後ニモウ一ツ大臣ニ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、今度ノ法案ニ依リマスト云フト、役員ハ多ク地方長官ガ銓衡團體ヲ拵ヘテ、ソレカラ指名スルト云フコトニナツテ居リマス、是デ一體地方ニ名望モアリ、又多數ヲ指導シテ行ク、有力ナル者ヲ擧ゲ得ラレルト云フ確信ヲ御持チニナツテ居ルカドウカ、今迄ハ是ガ皆選舉シテ參タノデ、總テノコトガ下カラ盛リ上ツテ行クヤウニナツテ居タ、今度ハ皆上カラ之ヲ指圖スル、餘程地方長官モ虚心恒懷、公平ニ選バスト云フト相成ラスノデアリマスシ、又サウ云フコトニナツテ地方ノ名望ノアル者ガ果シテソレヲ承諾シテ出ルカ、出ヌカト云フコトモ、餘程マア是迄ノ情勢ナラバ疑問デアリマスガ、今日ノヤウナ時勢デアリマスカラ、是ハ今日此ノ部門ト雖モ協力ヲ吝ム者ハ無イカラ、行ケルカトモ思ヒマスガ、其ノ點ニ付テ一應伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(岸信介君) 商工經濟會ノ役員ノ選任ノ何ニ付キマシテハ、第十四條ニ規定ガアリマスヤウニ、會頭ハ會頭銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中カラ地方長官ノ意見ヲ徵シテ主務大臣之ヲ命ズルト云フコトニナツテ居リマス、商工經濟會ノ先刻來申述ベマシタヤウナ重要使命ヲ透徹シテ參リマス上ニ於テ最モ大事ナコトハ、會頭ニ眞ニ其人ヲ得ルト云フコトデアラウト思フノデアリマス、此ノ會頭ノ選任ニ關シマシテハ、何如ナル方法ニ依ツテ、最モ其ノ他方ニ於テノ有力ナル産業經濟界ノ方ヲ選任スルカト云フ方法ニ付キマシテ、色々研究致シマシタ結果、會頭銓衡委員ト云フモノヲ、是ハ知事ガ任命ヲ致シマシテ、其ノ地區内ニ於ケル産業經濟ニ關シテ經驗アル者及學識アル者、立派ナ方ノ中カラ地方長官ガ一定數之ヲ命ジマシテ、此ノ銓衡委員ノ方々ニ十分其ノ地方ノ狀況ニアツテ最モ有力ナル人ト云フ者ヲ推薦シテ貰ヒマシテ、之ニ對シテ地方長官ガ意見ヲ附シテ、サウシテ主務大臣ニ於テ之ヲ任命スルト云フ形式ヲ採ツタノデアリマス、私共此ノ方法ニ依ツテ行クナラバ、各地方ニ於ケル最モ有力ナル産業經濟人ヲ會頭トシテ選任シ得ルモノダト確信ヲ致シテ居リマス、最モ此ノ方法ガ現在ノ狀況ノ下ニ於テ適當デアアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、副會頭、理事長、理事等ノ選任ハ評議員ノ選任ト云フヤウナモノニ關シマシテハ、今ノ方法ニ依ツテ最モ適當ナル會頭ト云フモノヲ選任シ、他ノ機關

ニ付キマシテハ、出來ルダケ會頭ノ意思ト
會頭ノ權威トヲ尊重致シマシテ、之ガ適當
ノ役員ヲ選任シテ貰フ、斯ウ云フ建前ヲ採ッ
タノデアリマス、新タナル商工經濟會ガ發
足致シマシテ、之ガ十分ニ其ノ使命ヲ到達
セシメマスル爲ニハ、繰返シテ申シマスガ、
最モ適當ナル會頭ヲ得ルヤ否ヤト云フコト
ニ懸ッテ居ルト思ヒマス、其ノ選任ニ關シマ
シテハ、色々ノ場合ヲ考ヘマシテ、最モ實
情ニ適シ、而モ最モ有力ナル人ヲ舉ゲ得ル
ノニ適當デアラウト考ヘマスル方法ヲ玆ニ
採用シタ譯デアリマスデ

○有吉忠一君 私ノ大臣ニ對スル質問ハ是
デ終リマス

○伍堂卓雄君 只今ノ有吉君ノ御質問ニ關
聯スルコトデアリマスガ、大臣ハ、今度ノ
商工經濟會ハ横ノ連絡ヲ取ラセル爲ニ作ラ
レタノダト云フ御説明デアリマスガ、統制
會ト、ソレカラ此ノ商工經濟會トノ構成員
ヲ通シテ、横ノ連絡ヲ取ラセルト云フヤウ
ナ御説明ノヤウニ承ッタノデアリマスガ、統
制會其ノモノト、ソレカラ商工經濟會トノ
關係ガハッキリシテナイヤウニ思ヒマスガ、
是ハドウ云フ風ニナッテ居リマスカ

○國務大臣(岸信介君) 統制會自體ハ御承
知ノ通り縦ノ一貫シタ統制團體デアリマシ
テ、其ノ産業ニ關スル限り、一貫シテ統制
ヲ行ッテ行クト云フ所ニ、其ノ特色ガアルト
思フノデアリマス、各部門ニ統制會ガ出來
マシテ、之ガ統制會ノ上部ニ於テ横ノ連絡
ヲ取ラナケレバナラヌト云フ必要モ、統制
會ノ發達ト共ニ段々感ゼラレテ來テ居リマ
ス、此ノ上部ニ於テ横ノ連絡ヲ如何ニ取ッテ
行クカト云フ問題ニ付キマシテハ、其ノ機
構ニ付テ政府ニ於テモ考究ヲ致シテ居リマ

ス、現在ハ任意ノ横ノ連絡會議ミタイナモ
ノガ、御承知ノ通り出來テ居リマスガ、之
ヲドウ云フ風ニ統制的ニ將來扱ッテ行クカ
ト云フコトハ、研究ヲ致シテ居リマス、唯
下部機構ニ於テ實際ノ統制ガ現場ニ滲透ス
ル關係ニ於キマシテハ、申上ゲル迄モナク、
地方廳ノ部門ニ於テソレガ執リ行ハレテ
來ル、此ノ實施ノ關係ニ於ケル横ノ連絡調
整ト云フモノハ、此ノ商工經濟會ニ於テ現
實ニ行ハレテ行クトニナルト思ヒマス、
是ハ統制會ノ各縦ノ統制ガ地方ニ實施セラ
ル、場合ニ於テハ、地方長官ノ綜合行政ノ
下ニ横ニ綜合セラレテ、此ノ商工經濟會ニ
於テ連絡ガ出來テ來ル、唯上部ノ統制會ノ
中央ノ横ノ連絡ニ付テハ、此ノ經濟會以外
ニ別途ニ之ヲ考ヘテ行ク必要ガアルト思フ
ノデアリマス

○伍堂卓雄君 大臣ハ能ク御承知ノコトデ
アルト思ヒマスガ、商工會議所ノ歴史ヲ追ッ
テ見マス、現在ノ會議所法ニ幾多ノ缺陷
ガアルノデ、我が國ノ商工經濟界ヲ代表ス
ル資格ガナイト云フ見地カラ、ソレニ慚ラ
ナイトシテ、御承知ノヤウナ私的ノ團體デ
アリマスケレドモ、經濟聯盟ト云フモノガ、
起ッテ來タノデアリマス、今日ハ實際我が
國ノ經濟界ヲ代表シテ居ル有力ナ機關トシ
テハ、商工會議所ヨリモ寧ろ經濟聯盟等ガ
認メラレテ居ルノデアリマス、サウ云フヤ
ウナ經緯カラ、長年ノ間商工會議所法ノ改
正ヲ私共モ叫ンデ來タノデアリマスガ、今
日現在ノ商工會議所ト事業ノ目的ハ違ッテ
居リマスケレドモ、矢張り我が國ノ商工經
濟界ヲ代表スルヤウナ機關ニナッタト見テ
モ宜イノデヤナイカト思フノデアリマス、
サウ云フヤウナ見方カラシマス、此ノ有

力ナ商工經濟會ガ出來タナラバ、現在私的
團體デハアリマスケレドモ、代表機關トシ
テ認メラレテ居リマス經濟聯盟デアルトカ
云フヤウナ團體ヲ、政府ハドウ云フ風ニ取
扱ッテ行カレルカ、是ハ先程有吉君モ言ハレ
マシタ通りニ重大ナ事デアリマシテ、商工
會議所ヲ強化シタ意味ニ於テ商工經濟會ガ
出來ルノダト致シマスレバ、其ノ點ハ餘程
政府ニ於テモ御考ニナリマセスト、徒ラニ
經濟界ヲ混亂サセル虞ガ生ジナイトモ限ラ
ナイト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ
伺ヒマス

○國務大臣(岸信介君) 今回ノ商工經濟會
ハ、先刻來申述ベマシタヤウニ、非常ナ重
大ナ使命ヲ以テ、而モ各道府縣ヲ單位トシ
テ、其ノ地方ニ於ケル最モ有力ナル産業經
濟界ノ人々ヲ網羅シテ作り、又ソレノ最モ
有力ナル方ヲ會頭トシテ、其ノ統制ノ下ニ
此ノ仕事ヲ果シテ行クト云フコトニ相成リ
マス、今後益々此ノ商工經濟會ノ意見乃至
其ノ考ト云フモノハ、最モ有力ニ現實ノ行
政部面ニモ反映セラレ、コトニ相成ラウト
思ヒマス、此ノ意味ニ於キマシテ、是ハ將
來最モ重要視シ、商工業ノ部門ニ於ケル團
體トシテ最モ有力視シテ行カナケレバナラ
ス、又有力視シテ行ク積リデ政府ハ之ヲ立
案シテ居ル譯デアリマス、而シテ是等ノ商
工經濟會ノ中央機關ヲ如何ニスベキヤト云
フ問題ニ關シマシテハ、從來ノ商工會議所
法デハ、日本商工會議所ト云フモノヲ法律
上明確ニ致シテ居リマスルガ、此ノ商工經
濟會法ニ於キマシテハ、之ヲ法律ニ取上ゲテ
居ラナイノデアリマス、實際ハサウ云フモ
ノガ全體ノ連絡機關トシテ出來ルダラウト
思フノデアリマス、而シテ今日中央ニ於ケ

ル各種ノ有力ナル經濟團體ガゴザイマスガ、
之ヲドウ云フ風ニ取扱ッテ行クカト云フ問
題ニ付キマシテハ、多年各方面デモ色々ナ
議論モアリマスシ、政府ニ於テモ研究ヲ致
シテ居ルノデアリマス、特ニ戰時下、總理
大臣モ其ノ施政方針ニ明確ニシテ居リマス
如ク、此ノ戰ヲ勝チ抜ク爲ニハ、民間ニ於
ケル盛リ上ル所ノ協助力ト云フモノガ何ヨリ
モ必要ナノデアリマス、此ノ意味ニ於テ有
力ナル産業經濟ニ關スル團體ト云フモノガ
存在スルコトガ必要デアリ、ソレガ政府ニ全
面的ノ協助力ヲザレルコトガ、戰時經濟ヲ遂
行シテ行ク上ニ、最モ重要ナ事ダト思フノ
デアリマス、而モ今日中央ノ狀況ヲ見マス
ルト、色々ナ團體ガソレ／＼ノ沿革ヲ以テ
發達シテ參ッデアリマスルガ、多クハ其ノ構
成者ハ之ニ重複ヲ致シテ居リマシテ、今御
指摘ノ經濟聯盟ヲ構成サレテ居ル所ノ方ハ
或ハ又同時中央物價統制協力會議ノ「メン
バー」デアルトカ、或ハ又經濟聯盟ノ指導的
立場ニアル有力ナ方ガ、日本商工會議所
ノ矢張り指導的地位ニアラレルト云フ風
ニ、相當ハ重複サレテ居ル關係モアル
ノデアリマス、從ッテ政府トノ關係ニ於キ
マシテモ、一方非常ニ簡素強力ニ總テノコ
トガ行ハレナケレバナラナイ戰時下ノ情勢
トシテ、斯ウ云フモノガ複雑ニ存在シテ居
ルト云フコトハ、寧ろ適當デナイト云フ有
力ナル議論モ、私共各方面デ承ッテ居リマ
ス、政府トシマシテモ、出來ルダケ是ガ適
當ナ方法ニ依ッテ、統合一元化サレル事柄
ヲ希望致シテ居リマス、唯先程御話ガアリ
マシタ通り、商工會議所ハ商工會議所ノ長
イ間ノ沿革ト歴史ガアリ、又經濟聯盟其ノ
他ノ團體ニ付キマシテモ、ソレ／＼沿革ト

歴史ガアリマシテ、簡單ニ之ヲ統合スルト云フ事柄モ困難ナ事情ガアリマスルガ、私共ハ此ノ商工經濟會ニ於テ地域のナ横ノ連絡機關ガ出來、更ニ中央ニ於キマシテハ、統制會ノ上部ノ、横連絡機關ガ出來、地方團體タル商工經濟會ヲ更ニ中央ニ於テ連絡スルヤウナ機關ガ、健全ニ發達スルヤウナ狀況ニ立チ至リマスレバ、是等ノ問題ヲ總テ一括シテ解決シテ、中央ニ有力ナ産業經濟ニ關スル團體ガ結成サレルコトヲ期待致シテ居リマス

○伍堂卓雄君 大臣ノ御意見ハ私モ至極同感デゴザイマスガ、是非非常ニ緊急ヲ要スル問題デハナイカト思フノデアリマス、今日會社ノ重役ノ陣頭指揮ト云フコトヲ言ハレテ居リマスシ、又政府ニ於キマシテハ行政ヲ簡素化シテ、官吏ノ定員ヲ減ゼラレタリシテ居リマシテ、無駄ナ時間ヲ官民共ニ使フコトヲシナイ、重複シテ仕事ヲシナイト云フコトガ、狙ヒ所デアルト思フノデアリマスガ、只今大臣ガ申サレマシタ通り色色長イ歴史ハアリマスケレドモ、違フタ經濟團體ガアリマシテ、何カ重要ナ問題ガ起ルト、同ジ問題ヲ而モ同ジ人ガ違フタ團體ニ屬シテ居リマスガ爲ニ、各團體毎ニ其ノ問題ヲ研究シ、政府ニ對シテ進言ヲスルト云フコトガ行ハレツ、アル、而シテソレ等ノ同ジ團體ニ政府ノ方針、或ハ法案ノ説明ヲサレル爲ニ、非常ニ忙シカルベキ大臣始メ次官局長アタリガ、同ジ問題ニ對シテ貴重ナ時間ヲ費シテ、ソレ等ノ團體ニ行ッテ説明サレルコトガ今日ノ實況デアリマス、サウ云フコトヲ唯從來ノ行キ懸リガ非常ニ複雑シテ居ルカラ、能ク研究ヲシテ何トカ善處スル積リダト云フヤウナ、今日結果ニ於

テハ暢氣ニナルヤウナ御取扱デ過シテ宜イモノデアアルカドウカ、斯ウ云フヤウナ特別ノ法案ヲ出サレタ際デアルカラ、斯ウ云フコトコソ快刀亂麻ヲ斷ツガ如キヤリ方デオヤリニナラナケレバ、戰時經濟ノ圓滑ナ運営、而シテ敏活ナ處置ヲ爲サレルコトガムツカシイト私ハ思フノデス、此ノ點ヲ特ニ一ツ御決心ニ相成ルコトガ必要デヤナイカト思フノデス、重ネテ一ツ御尋ネシテ置キマス

○國務大臣(岸信介君) 御話ノ如ク此ノ問題ハ戰時下ニ於テ重要デ、且出來ルダケ早ク解決スベキ問題ダト思ヒマス、十分御意見ノヤウナ點モ尊重致シマシテ善處致シタイト存ジマス

○伍堂卓雄君 私人質問ハ終リマス

○稻畑勝太郎君 先刻有吉委員カラ申サレタ如ク、今日非常時デアリマシテ、私モ政府ノ御提案ニ對シテ十分協力シテデス、此ノ法案ヲ成立サセルト云フコトヲ望シテ居ル一人デアリマス、併シ自分ハ此ノ法案ニ對シテハ聊カ質疑ヲ持ッテ居ル者デアリマス、丁度大阪商工會議所ニハ過去私ハ三十二年間、議員ナリ會頭シテ從事シテ居タ者デアリマスガ、此ノ國家ノ有力ナル經濟團體デアリマシテ、又其ノ會議所ナルモノハ商工界ノ改善發達ニ今日迄努力シテ來タノデアリマス、尙大阪アタリニナリマストデス、商工ノ發展以外ニ大阪府廳、或ハ大阪市デ出來ナイ仕事モ會議所ガ手傳ヲシテ來タノデアリマシテ、例ヘバ東京ニハ色々有力ナ機關ガアリマスカラシテ必要ガアリマセスガ、地方ニナリマストデス、外國ノ經濟團體ガ從來訪問シテ來ルト云フヤウナ時ニハ府廳デモ餘リ公式ニナリ過ギ

ル、市デハドウモ經濟上ノ事ニ關シテ之ヲ斡旋スルト云フコトガ出來スト云フヤウナモノニ對シテハ、此ノ大阪ナリ其ノ他ノ各地ノ會議所ナルモノハ、サウ云フ連絡モ色々取ツテ居ル、ソレハ只今有吉君カラ御話ニナツタ如ク昔ハ西洋ノ商館ト色々日本ノ商人トノ間ニ紛糾ガアツタト云フヤウナ時ニハ、商工會議所ガ出テ仲裁シテ圓滿ニ解決ヲ圖ッテ行ツタ慣例モアリマスノデ其ノ慣例デモアリマセウカ、隨分外國ノ經濟團體ガ大阪アタリニ參リマスルト、會議所ガ其ノ衝ニ當ツテ居ル、現ニ一例ヲ申上ゲマスレバ「リットン」卿ガ大阪ヘ來タ時モ經濟上我が國ガ此ノ滿洲ニ於テ利權ヲ持チ、又滿洲問題ト云フモノヲ解決スル權利ガアルト云フコトヲ經濟方面カラ「リットン」卿ノ一行ニ色々説明盡力ヲシタコトモアリマスルガ、サウ云フ種類ノコトハ從來ママルノデアリマス、今回ノ此ノ經濟會法案ニ依リマスレバ、將來サウ云フ地方ニ於テ、府廳デモヤリニクイ、或ハ市デモヤリニクイト云フヤウナ仕事ノモノハ、此ノ經濟會、一ツノ單純ナ施設ノ此ノ組織デ、從來ノ會議所ノ執ツタヤウナ仕事ガ出來ルヤ否ヤト云フコトヲ私ハ疑フ抱イテ居ルノデアリマス、又他面果シテ商工會議所ノ現在ノ機構ヲ、商工經濟會ニ變更スルト云フコトガ、此ノ際十分必要ニ迫ツテ居ルヤ否ヤト云フコトヲ、私ナリ商工業者ハ疑ツテ居ル所以デアリマシテ、此ノ點ヲ御尋ヲ致シタイノデス、又商工經濟會ノ法案ハ統制經濟ニ對スル横ニ協力スル體制デアルト云フ今御説明デアリマシタガ、是ハ此ノ經濟會ノ運用ノ如何ニ依ルコトデ、法ガ出來テモ運用ガ惡ケレバナカ／＼效果ガ現レナイト

云フコトニナラウト思フノデアリマス、今迄會議所ハ政府ノ各省ト直接ノ連絡ヲ保ツテ居ッタノデアリマスルガ、經濟會法案ニ依レバ官廳ト會議所ヲ單ニ商工省及ビ地方官廳トノ官民協力機關ニ、此ノ法案ニ依ッテスルト云フコトハ、會議所ノ機構ノ縮少デハナイカ、從來ノ會議所ノ機構ノ縮少デハナイカト云フ疑ヲ持ッテ居ルノデアリマス、從來都市單位ニ設立サレマシタ會議所ヲ、府縣單位ノ商工經濟會ニ擴張スルト言ヒマシテモ、地域ダケノ擴張デアリマシテ農林、水産等ガ商工經濟會ノ適用ヲ受ケナイ以上ハ、内容ハ從來通り少シモ變ラズノデアリマシテ、又構成委員ノ少クナルコトニ依リマシテ、府縣ノ各都市ノ連絡ガ却テ不十分ニナリハセナイカト、斯ウ云フ疑ヲ持ツノデアリマス、ソレカラ先刻大臣ノ御話ニハ、從來日本商工會議所ト云フモノハ、現今アリマスルガ、是ハ法律決メテ居ッタモノデアリマスルガ、今回ノ法案ニ依リマスルト、地方會議所ノ協議會ト云フモノハ法的ニ認メナイ、斯ウ云フ話デアリマスガ、之ヲ法的ニ御認メナツタラ如何デアラウカト云フコトヲ御伺シタイト思フノデアリマス、ソレ等ノ疑問ヲ私ノミナラズ、地方ニ於ケル商工業者ガ疑問ヲ持ッテ居リマスノヲ、屢、私モ耳ニ致シマスノデ、私ハ此ノ機會ニ御質問ヲ申上ゲル次第デアリマス

○國務大臣(岸信介君) 色々ノ點ニ付テ御質問デアリマシタガ、或ハ御質問ニ十分答辯ガ合ッテ居ラナイ所ガアリマシタラ、重ネテ御質疑願ヒタイト思ヒマス、一應御答辯申上ゲマス、現下ノ事態ニ於テ、從來ノ商工會議所ノ制度ヲ改組シテ、商工經濟會ニスルコトガ最モ緊要ナ理由ハ、何所ニア

ルカト云フ問題デアリマスガ、是ハ申上ゲル迄モナク、現在ノ産業經濟ノ問題ハ、總テ色々ナ點カラ物動計畫或ハ生産擴充計畫其ノ他各種ノ計畫等編制ノ下ニ是ガ實施サレテ居ルノデアリマスルガ、而モ其ノ計畫ナリ、或ハ統制ト云フモノガ、實際ニ即クシテ最モ實際ニ適應シナガラ其ノ實效ヲ擧ゲテ居ルカドウカト云フコトヲ見マスルト云フト、ナカク御承知ノ通り遺憾ノ點ガ少クナイト思ヒマス、物資ノ配給ニ致シマシテモ、或ハ物價問題ニ致シマシテモ、ナカナカ現實ノ問題ハ、所期サレテ居ル計畫ヤ統制ノ趣旨ニ、是ガ適ッテ實現サレテ居ルト云フコトガ出來ナイト云フ節ガ少クナイト思ヒマス、此ノ戰時經濟ヲ圓滑ニ運用シテ行ク爲ニハ、計畫統制ガ十分ニ其ノ目的ヲ達スルヤウニシテ行カレバナラス、又計畫統制ノ方式ニ付キマシテモ、最モ實情ニ適シ、最モ效果的ナル方法ガ執ラレナケレバナラスト思フノデアリマス、是等ノコトガ實際ニ現實セラレル爲ニハ、單ニ官廳側ノモノカニ依ッテ是ハ出來ルモノデナクシテ、ドウシテモ民間ノ熱意ノアル、心カラナル協力ヲ遂ゲラレナケレバ、其ノ目的ハ到達シナイモノダト思フゾデアリマス、而モ其ノ統制若シハ計畫ガ實施セラレ、實際ノ國民ノ生活ナリ、國民ノ産業經濟ニ直接スル所ハ、府縣ノ單位ニ於キマシテ、府縣ノ部門ニ於テ、是ガ實際實施サレテ居ル府縣廳ハ、今日從來ノ府縣廳トハ、非常ニ其ノ權限ノ上ニ於キマシテモ、重大ナ責務ヲ持ツヤウナ立場ニ立ッテ居ルノデアリマス、物價問題ニ於キマシテモ、或ハ物資ノ配給ノ問題ニ於キマシテモ、或ハ各種ノ物動或ハ勞務動員、其ノ他ノ實施ノ上ニ於キマシテモ非

常ナ重大ナル地位ニ立ッテ居ルノデアリマス、從ッテ此ノ府縣ト表裏一體トナッテ其ノ地方ノ實情ニ最モ即シタ又其ノ方面ニ於キマシテ深い知識經驗ヲ持ッテ居ル産業人ガ此ノ府縣ニ協力シテ、サウシテ統制ヤ計畫ヲ實施シテ行クト云フ機構ガナケレバナラスト思フノデアリマス、商工會議所ノ最近ノ狀況ヲ見マスと云フト、先程モ有吉委員カラ從來ノ沿革ニ付テ色々御話ガアリマシタ如ク、法律ハ商工會議所法ト云フ下ニ仕事ヲシテ居ル譯デアリマスガ、其ノ時代時代ニ依ッテ最モ主眼ヲ置キ最モ力ヲ入レテ仕事ヲシテ來タコトハ時勢ト共ニ變ッテ居ルノデアリマシテ、最近ニ於キマシテハ、此ノ商工會議所ガサウ云フ物價問題ナリ、或ハ産業再編成ノ問題ナリ、又物資ノ配給ノ問題等ニ關シマシテ府縣ヤ市等ニ於テハ十分滲透シテ行ヒ得ナイ部門ヲ漸次受持タレツ、アル狀況デアリマス、之ヲ更ニ一層強力ニ其ノ商工會議所ノ努力、御協力ト云フモノヲ實現化ス爲ニハ、此ノ機構ヲ府縣ノ行政範圍ト同ジニシテ、而モ其ノ機構ノ上ニ於テ、又運用ノ上ニ於テ府縣——一體トナッテ、是ガ運營サシテ行クヤウナ組織ヲ考ヘルコトガ、現下ノ情勢ノ下ニ於テ、私ハ最モ必要ダト思フ、今後益々此ノ物資ガ窮屈ニナリ、又ハ物價問題ニ付テ困難ナ問題ガ漸次起リテ來ル情勢ヲ考ヘテ參リマスと云フト、ドウシテモ此ノ府縣ノ行政ト表裏一體ヲ爲ス有力ナル民間ノ協力團體ガ出來ル必要ガアルト思フノデアリマス、是ガ此ノ商工經濟會ヲ此ノ戰時下ニ於テ最モ急ニ立案シ、之ヲ執行シナケレバナラスト考ヘマスル一番重要ナル點デアリマス、次ニ從來ノ商工會議所ヨリモ或ハ組織ニ於テ、或ハ權限ニ於テ、却ッテ縮少

スルモノデハナイカト云フ御考デアリマスガ、是ハ決シテサウデハナイノデアリマシテ、先程來申シマシタ通り、此ノ組織ノ上ニ於キマシテモ、十分其ノ土地ニ於ケル商工業ノ各方面ノ最モ有力ナル實態ヲ、此ノ經濟會ノ組織ノ上ニ實現スルヤウナ構成ヲ實行シテ行キタイ、斯ウ思ッテ居ルノデアリマス、唯御質疑ニモアリマシタ通り農業、水産業ノ部門ガ是ニ入ラナイカラ、從來ト此ノ大キナ範圍カラ言フト矢張り同ジダ、寧ろ之ヲ包括シテ更ニ有力ナモノヲ考ヘルコトガ適當デヤナイカト云フヤウナ御議論ニ付キマシテハ、是ハ申ス迄モナク農業、水産業、一般ノ商工業、總テ産業經濟ト云フモノハ全體ガ綜合セラレ、有機的ナ關係ヲ持ッテ居ルノデアリマシテ、是ガ更ニ大キナ見地カラ包括サレテ行クト云フ事柄ハ、是ハ勿論望マシイコトデアリマス、併シ團體ノドノ程度ニ於テ、之ヲ包括シテ行クカト云フ問題ニ付キマシテハ色々ナ沿革モアリマセウガ、更ニ現實ノ戰時下ニ於ケル戰時統制經濟ノ運用ノ主眼ヲ考ヘテ、之ヲ適當ニ考ヘテ行ク必要ガアルト思ヒマスガ、現今ノ段階ニ於キマシテハ、此ノ商工業ト農業關係ノ何ニ付キマシテ、一方非常ニ緊密ナル聯繫ヲ保ツ必要ハ固ヨリ非常ニ重大デアルト思ヒマス、併シナガラ之ヲ一ツノ團體下ニ包括スルコトガ果シテ戰時統制經濟ヲ運用シテ行クノ宜イカ、或ハ別ノ形ニ於テ十分調整ヲ取ッテ行クコトノ方ガ適當デアルカト考ヘマスと云フト、政府トシテハ後者ノ方ガ適當デアルト云フ考ヘノ下ニ、商工經濟會ニハ此ノ農業水産業ノ構成員ヲ認メナカッタデアリマス、併シ之ニ依ッテ商工經濟會其ノモノガ非常ニ無力ニナ

ル、或ハ縮小サレルト云フヤウナコトハ全然私共考ヘテ居ラナイノデアリマス、ソレカラ尙各都市ノ連絡ノ問題デアリマスガ、是ハ府縣ノ單位ニシテ、商工經濟會ガ出來マスガ、有力ナ地ニハ茲ニアリマス通り支部ヲ置クコトニ致シテ居リマス、支部ト本部トノ關係ニ於キマシテ、十分ナ連絡ヲ取ッテ行ク考ヘデアリマス、此ノ點ハ寧ろ從來此ノ都市別ニ商工會議所ガ出來テ居ッテ、各其ノ都市ダケノ見地カラ色々意見ガ出タヨリモ、寧ろヨリ大キナ經濟單位ヲ基トシテ而モ其ノ内部關係ニ於テハ多少特別ノ事情モアルコトヲ考慮シテ、支部ト云フヤウナモノノ設置ニ依ッテ、業者ヲ適當ニ調整分配シテ行クト云フコトガ最モ適當デアラウト斯ウ思ッテ居ルノデアリマス、ソレカラ日本商工會議所又ハ地方ノ連絡會議ノ問題等ガ法律ニ採リ上ゲテ居ラナイ理由デアリマスカ、實ハ此ノ商工經濟會ト云フモノガ考ヘテ見マスルト云フト、一方府縣ト表裏一體ヲ成サナケレバナラスト云フ必要ガアルト共ニ、今日ノ交通運輸ノ關係カラ見マスルト云フト、經濟ノ問題ハ府縣ノ地域ヲ越エテ、所謂經濟「ピロク」ト云フヤウナ關係ガ非席ニ密接デアルト思フノデアリマス、例ヘバ大阪、神戸、京都ト云フモノハ行政區劃ハ別ニシテ居ルケレドモ、經濟關係デ見ルト云フト寧ろ一體のニ考ヘラレル、近畿全體ガ一ツノ有機的ナ關係ニ於テナサレナケレバナラス、斯ウ云フ意味ニ於テ現在ニ於テモ各地域別ノ協議會、商工會議所ノ聯合會ト云フヤウナモノガ事實上出來テ居ル狀況デアリマス、今後ニ於キマシテモサウ云フモノガ矢張り事實上ハ出來テ來ルト私ハ思ッテ居リマス、又事實上サウ云フモノ

ガ出來テ適當ニ連絡シテ貰フ、有機的ニ經濟問題ヲ處理シテ貰フ必要ガアルト思ヒマス、唯今日ノ行政機構ノ地方制度ハ、府縣ノ單位ニナツテ居ルノデアリマシテ、此ノ單位ニ付キマシテモ色々各方面デ、更ニ今日ノヤウナ狀況ニナツテ來ルト云フト、或ハ道廳制度ト云フヤウナモノヲ置イタ方ガ適當デヤナイカト云フヤウナ議論モ各方面ニア

濟聯盟ノ如キハ有力ナ機構デアリマスケレドモ、經濟聯盟ト、又商工會議所トハ構成ノ根本ガ違フ譯デス、商工會議所ハ各方面ノ人達ナリ、又中小ノ商工業者ヲ網羅シテ、從來ハ申ス迄モナク御承知ノ通りアルノデアリマシテ、經濟聯盟ハサウ云フ意味デハ幾分違フノデアリマシテ、矢張り將來ハ何カ日本商工會議所ノヤウナ、何カ經濟會ガ出來マスレバ、經濟會ノ聯合會ト云フヤウナモノハ矢張り法律上御認メニナツテ、之ヲ設定サレルト云フコトガ必要デアラウト私ハ思フノデアリマス、是ハ御參考迄ニ希望ヲ申上ゲテ置ク次第デアリマス、私ノ質問ハ是デ打切りマス

○稻畑勝太郎君 先刻御話ガアリマシタ經濟問題ハ、綜合的ニ行ッテ行クト云フノハ事實上ノ發達ニ暫ク任シテ置クコトガ適當デアルト、斯ウ考ヘテ居リマス、中央ノ機構ニ付キマシテハ先程伍堂委員カラモ御話ガアリマシタ通り、是ハ私共最モ有力ナ經濟産業ノ中央ノ一ツノ段階ガ將來出來テ來ナケレバナラス、近ク之ニ付テノ適當ナ方策ヲ考ヘ、實施シナケレバナラスト斯ウ思ッテ居ルノデアリマシテ、從ヒマシテ特ニ法律ニ於テ色々ナ形ヲ先ヘ作リ上ゲテシマフト云フトハ適當デナイト考ヘマス、寧ロ實際ノ問題トシテハ今申シマシタヤウニ地域のナモノ、聯合會見タイナモノガ出來、重要ナ地ニ、更ニ中央ニ於テ全國ノ經濟會ノ協議會、若シハ聯合會見タイナモノノガ事實上出來テ來ル、サウシテ更ニ此ノ戰時經濟運営ノ上カラ全産業ヲ網羅シテ居ル所ノ大キナ中央機構ヲ考ヘル際ニ其ノ問題ハ併セ解決サレル、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○中山太一君 チョット御尋ネシテ置キマスガ、私ハ商工會議所ノ改組ニ付テノ問題、元商工會議所ハ産業經濟ノ參謀本部トシテノ重大使命ヲ持ッテ居ル筈デアリマスガ、ソレニハ構成ノ關係等ニ於テモ是ガ行ハレテ居ナイ、今度ハ色々組合ノ改組ガ行ハレルト同時ニ、商工會議所ニ其ノ組合統制會ナリ、又ハ組合等ガ之ニ加ハルト云フトハ非常ニ意義ノアルコトダト思ヒマス、今迄ハ會議所ガ個人ノ位置ナリ勢力ヲ獲得スル黨派ノ結束等ガ行ハレテ、サウシテ役員ヲ唯約束シテ、其ノ色々ノ選舉ニ利用サレルト云フヤウナコトモナイデモナカッタノデアリマス、サウシテ産業經濟ノ發達振興ハ第二義的ニナツテ居ッタモノモアッタノデアリマス、サウシテ其ノ個人々々ガ會議所ノ構成ノ要素トナツテ居リナガラ、ソレガ其ノ各種ノ重要ナ業界ヲ代表シタ意見デナク、殆ド業界ト離レタモノモアッタノデアリマス、今度ノ改正サレルコトハ非常ニ時局柄極メテ適切ナル方法デアッテ、選舉ノ議員トシテ

ノ、先程御話ガアリマシタ今後ハ重要産業者ハ單獨ニ、サウデナイ者ハ組合加入シテ、サウシテ産業經濟上ニ緊密ナル連繫ヲ以テ其ノ機能發揮ニ邁進スルヤウナ御話ガアリマシタ、此ノ點ハ今後ニ於テハ非常ニ宜イコトダト思ヒマスガ、唯組合トノ關聯ガ或時ニ業種別ノ立體的機構ガ地方デニ行ハレテ居リ、ソレガ全國的ニ行ハレナカッタナラバ、其ノ業種ノ統一シタ全國ノ意見ト云フモノガハッキリシナイダラウト云フコトガ一ツデアリマス、ソレデ組合ガ地方的ニ横ノ連繫ヲ以テ、縦ノ機能ヲ發揮スルダケデナク、横ノ連繫デ商工經濟會ニ是ガ合流スルト云フトハ一ツノ良イ方法デアリマスガ、ソレダケデハイカナイノデハナ

後ハ政府ノ時局ニ即應スル大方針ノ下ニ構成サレル商工經濟會デアレバ、必ズ中央ニアル會モ、表裏一體ノ下ニ立派ニ國策ニ協力スル機關トナリ得ルト思ヒマスノデ、此ノ點ニハ色々今御話ガアリマシタガ、今ノ業種別ノ組合ノコトト關係シテ、後デ日ヲ變ヘマシテ御尋ネ致シ、又説明ヲ聽キマスケレドモ、此ノ點モ特ニ御考慮ヲ仰ギタイト存ジマス、今ノ業種別ノモノガ地方的ニノミチン切ラレテシマフヤウナ意味デナシニ、矢張り全國的ニ存在シナケレバナラスト思ハレマスカラ、其ノ意味ニ於テ御意見ヲ承リタイ

○國務大臣(岸信介君) 御話ノ通り、各業種ハ其ノ業種ニ依リマシテ、全國 縱ニト申シマスカ、立體的ト申シマスカニ、一ツノ統制機構ガ建テラレナケレバナラスコトハ御説ノ通りデアリマス、現ニ統制會其ノ他各種ノ組合制度ノ立テ方ハ、大體業種別ニ縱ニ立體的ナ統制機構ニ作り上ゲルト云フ組織ニナツテ居リマス、ドチラカト申セバ、現狀ノ下ニ於テハ其ノ機構ニ重點ガ置カレテ居ッテ、地方ノ關係ヲ横ニ綜合シ、連絡スルト云フトガ非常ニ缺ケテ居ルト云フ狀況デアリマスノデ、今度ノ商工經濟會ニ於テ、其ノ點ニ考ヘテ横ノ連絡ニ重キヲ置イタ組織ヲ考ヘテ居ル譯デアリマス、言フ迄モナク産業經濟ノ問題ハ、一面ニ於テハ、今申シマスヤウニ、産業別ノ縦ノ關係ノ統制機構ト云フモノガ矢張り必要デアル、横ノヤウナ地方ノ綜合、此ノ兩方ガ緊密ニ適當ニ組織ガ出來テコソ始メテ産業界ノ各種ノ運営ガ圓滑ニ行クモノダト思ヒマス、御説ノ通りダト思ヒマス

○有吉忠一君 議事進行ニ付テ、先程委員

長カラ月曜日カラ大臣ハ或ハ少シ御用ガアッ
テオイデニナラヌカモ分ラスト云フコト
デ、如何ニモ法案ガ澤山出テ居リマシテ、
大臣モアツチコツテ随分御忙シイコトデアラ
ウト思ヒマス、是ハドウモ已ムヲ得マセヌ
カラ、他ノ政府委員デ出來ルダケ御答辯ヲ
願ヒ、併シドウモ段々話ヲシテ居ル内ニ、
是非大臣ノ御意見ヲ伺ハナケレバナラスコ
トガ起ツテ來ルダラウト思ヒマスカラ、其
ノ節ハドウカ繰リ合セテ大臣モ御出席ヲ賜
ハルヤウニ御願ヒシテ置キタイト思ヒマス
○委員長(伯爵黒木三次君) 承知致シマシ
タ、委員長ノ方カラモ能ク當局ニ話シマシ
テ連絡ハ執ル積リデ居リマス、ソレカラ又
モ議事進行ノ點デゴザイマスガ、月曜日カ
ラハ、成ルベク皆サンカラ御質問ノ簡單ナ
要旨ヲチヨット御書キ下サイマシテ、委員
長ノ手許ニ御届ヲ願ヒタイト思ヒマス、サ
ウシマスレバソレヲ政府當局ト打合セマス
レバ、御答辯ノ方モ的確ヲ得ルダラウト思
ヒマス、又時間モ省略ガ出來ルダラウト思
ヒマス、ドウ云フ點ダツタラ、此ノ時ハ大
臣ニオイデヲ願ヒタイト、斯ウ云フコトモ
言ハレマスカラ、其ノ時ハ特別ニ御都合願
ヒタイト思ヒマス、ドウゾ其ノ點ヲ御了承
置キヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレデハ本日ハ
此ノ程度デ散會致シマス

午後零時六分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵黒木 三次君
副委員長 男爵東郷 安君
委員

公爵 徳川家正君
侯爵池田 宣政君
侯爵峰須賀正氏君

國務大臣

政府委員

農林省食品局長 田中 啓一君
商工省總務局長 神田 暹君
商工省企業局長 豐田 雅孝君
商工事務官 美濃部洋次君

商工大臣 岸 信介君

中野 敏雄君

古莊健次郎君

山上 岩二君

片倉兼太郎君

中山 太一君

河西豐太郎君

稻畑勝太郎君

竹内 可吉君

男爵八代五郎造君

男爵杉溪 由言君

吉野 信次君

大橋 八郎君

伍堂 卓雄君

男爵松岡 均平君

有吉 忠一君

子爵織田 信恒君

子爵富小路隆直君

子爵河瀨 眞君

子爵曾我 祐邦君

昭和十八年一月三十日印刷

二十一日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局